

「事業者システム 200910」の導入手順説明書

ここでは、「事業者システム 200910」を導入する手順について説明します。

なお、このシステムの確認作業等は継続しており、障害等発見された場合には、順次バージョンアップ版を「ウエルネットなごや」のホームページ上に掲載していきます。

このため、国保連合会へ本番の請求データを送付する際には、バージョンアップ版の有無を確認の上、最新版で作成した請求データを使用してください。

なお、このシステムは、平成 21 年 10 月サービス提供分以降の請求に対応していますので、平成 21 年 9 月サービス提供分以前の請求時には「事業者システム 200904」等をお使いください。

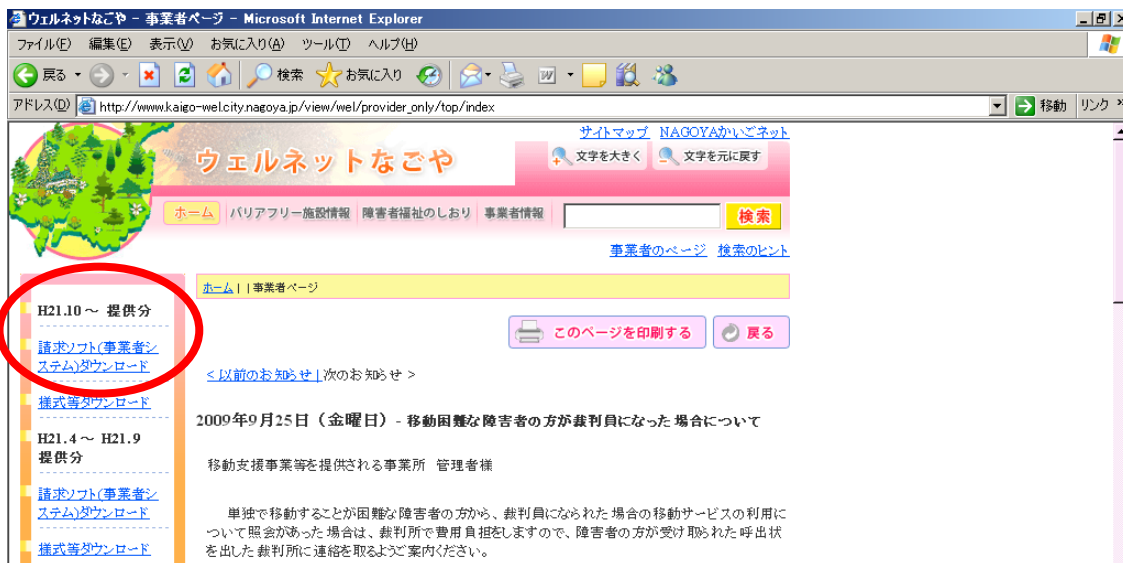
1 セットアップ（導入に必要なもの）

機材…パソコン、プリンタ

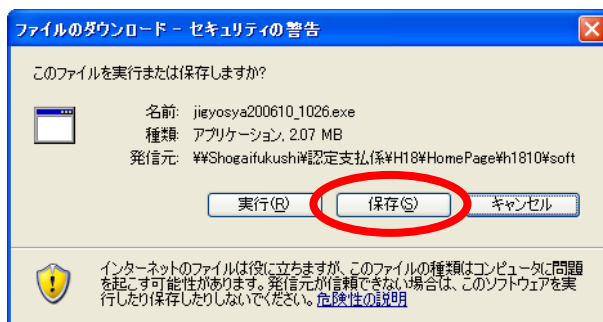
ソフトウェア…OS(Windows2000、XP、Vista、7 (32 ビット版))

Microsoft Access 2002、2003、2007

① 事業者システム 200910 の圧縮ファイルをダウンロードします。



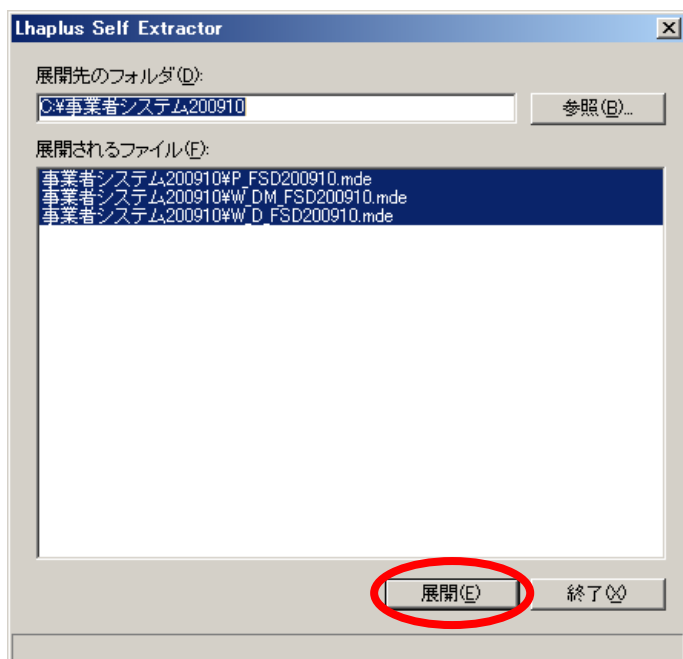
② デスクトップなどに保存します。(保存場所は問いません。)



- ③ 保存されたファイル(jigyosya200910_ver1.○.exe)をダブルクリックします。

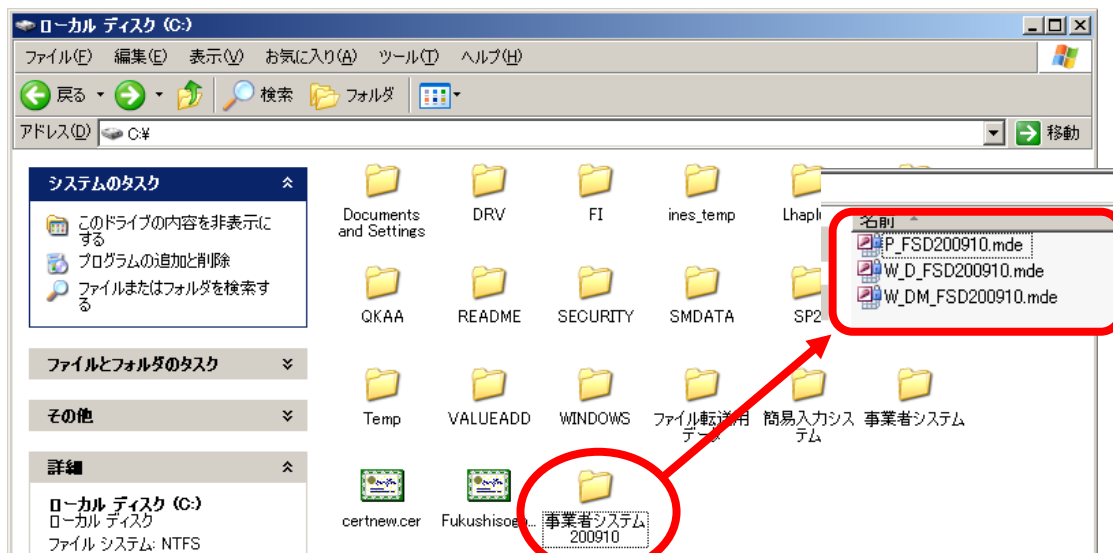


- ④ 以下のウインドウが展開したら、そのまま「展開」を押します。



- ⑤ Cドライブに「事業者システム 200910」という名前のフォルダが作成され、その中に次の3つのファイルが保存されるとセットアップは完了です。

- P_FSD200910.mde
- W_D_FSD200910.mde
- W_DM_FSD200910.mde



2 ショートカットの作成方法

デスクトップに事業者システムのショートカットを作成すると便利です。

※作成方法については、事業者システム操作マニュアル(共通編)の1ページを参照してください。

3 データの入力及び200910からの移行

導入したばかりの事業者システム200910には、「事業者情報」「受給者情報」等が入力されていないので、以下の方法でセットアップを行います。

【事業者システム200904を使用していない場合】

事業者システムマニュアル(共通編)に添って、「事業者情報」「受給者情報」「契約情報」等の入力を行ってください。

【事業者システム200904を使用している場合】

事業者システム200904に登録している「受給者情報」「事業者情報」「契約情報」を事業者システム200910へ移行することが可能です。

※ 移行条件として、Cドライブ中に「C:\¥事業者システム 200904」が存在する必要があります。また「事業者システム200709」以前のソフトからはデータの移行はできません。

※ サービス提供実績記録、請求明細書データは移行できません。

<データ移行方法>

① メニュー画面を開き、「99 H21/10データ移行」を押下します。

名古屋市長・障害者自立支援 事業者システム 200910 Ver.1.0

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号 (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値) 提供単位番号名

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月 H21/10 (提供実績管理・請求明細管理・バッチメニューの提供年月の既定値)

<オンライン処理> 選択サービス

01 対象者管理	04 請求明細管理
02 契約管理	05 利用計画費請求
03 提供実績管理	06 上限管理結果

<バッチ処理>

11 バッチメニュー
12 国保連データ

<初期処理>

91 DB再リンク	94 市町村情報
92 操作権管理	98 バックアップ
93 事業者情報管理	99 H21/10データ移行

終了

- ② 「平成21年 10 月改正データ移行を行います。よろしいですか?」と表示されますので「はい」を選択します。

- ③ 「データ移行が完了しました」と表示されたら移行作業は完了です。
→ 移行作業完了後、事業者システムを一旦終了し、再度、起動してください

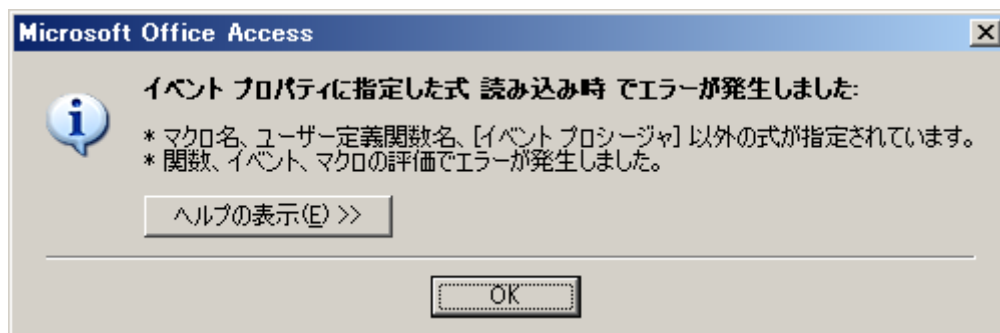
※「99 H21/10 データ移行」ボタンについて

このボタンは、「93 事業者情報管理」にデータが1件でも登録されると表示されなくなります。

そのため、一旦事業者データを登録して、このボタンの表示が消えても、登録した事業者情報データをすべて削除すれば、再度このボタンが表示されます。

4 エラー発生時の対応方法

「事業者システム 200910」を起動した際に、下記のようなエラーが発生した場合は、「OK」ボタンを押下し、メニュー画面で「91 DB再リンク」を実行してください（※事業者システムマニュアル 共通編 69 ページ参照）。その後、事業者システムを一旦終了し、再度、「事業者システム 200910」を起動することにより、エラーが解消される場合があります。



その他のエラーが発生した場合など事業者システムについてのお問合せは、「ウェルネットなごや」に掲載の「事業者システムにかかる質問票」に詳しい状況を記入し、障害者支援課へFAX（※052-972-4149）してください。（※お電話でのご質問はお断りしておりますのでご了承ください。）

「Windows Vista」「Access2007」で事業者システムを使用する際の 注意事項について

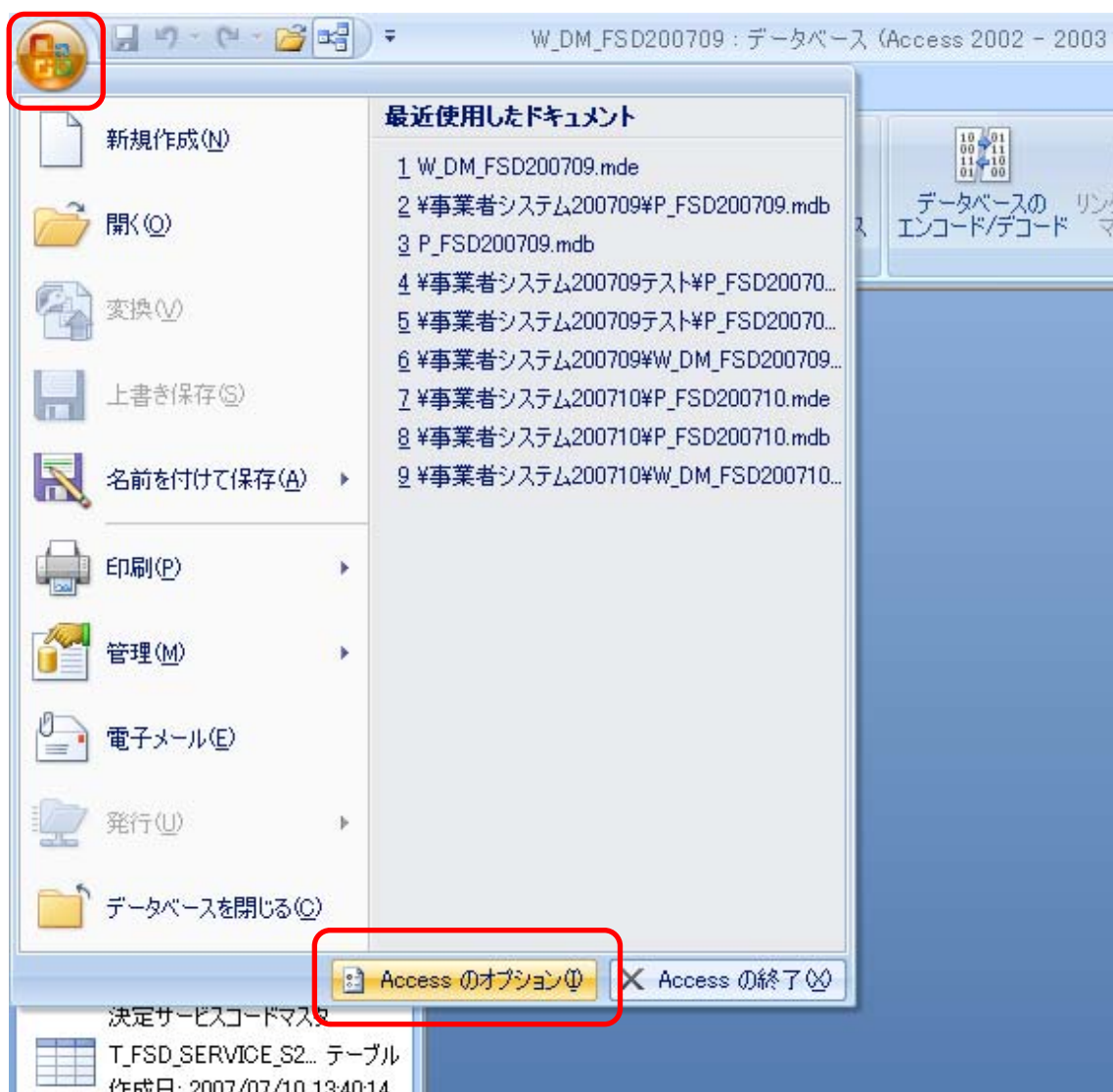
1 Access2007 をインストールしたパソコンで使用する場合

「事業者システム 200904」を Access2007 で使用する場合、マクロのセキュリティ設定を解除する必要があります。下記の手順に沿って設定を行ってください。

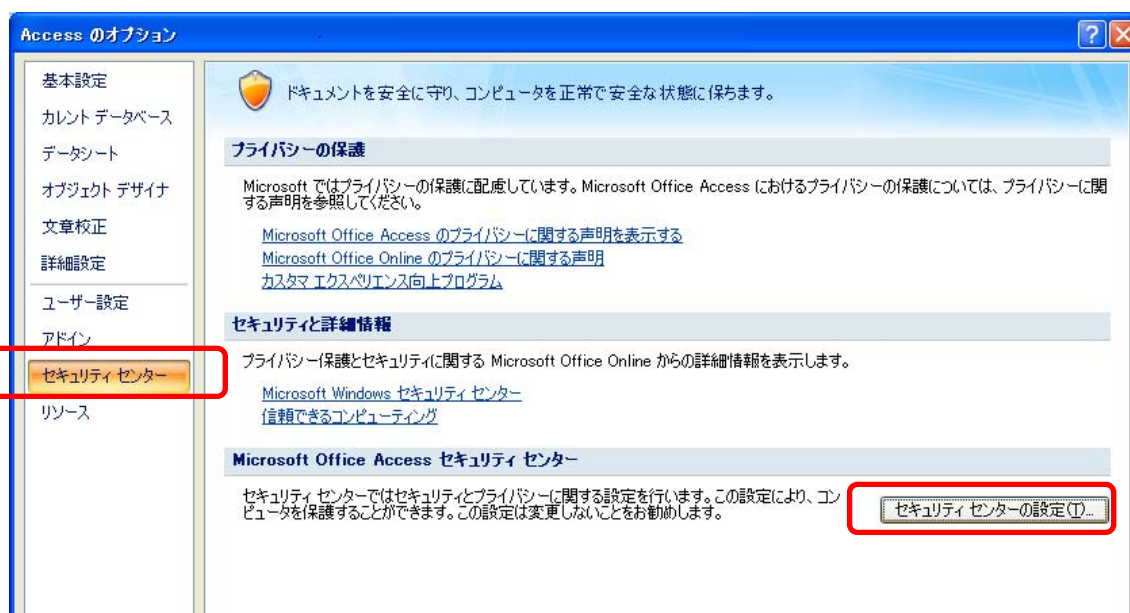
① Access2007 を開きます。

左上の部分をクリックするとメニューが開きます。

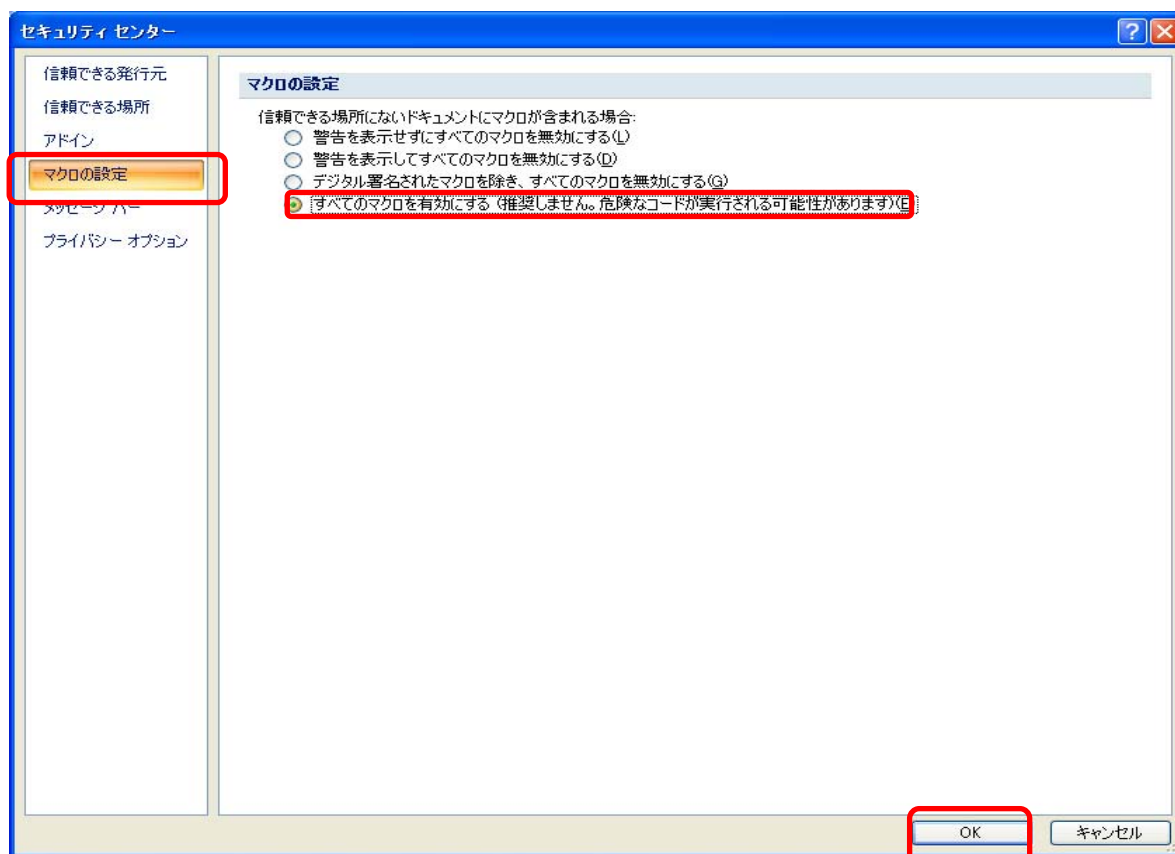
メニューの表示後、下部の「Access のオプション」をクリックします。



② Access2007 のオプションが表示されたら、左のボックス内の「セキュリティセンター」を選択し、「セキュリティセンターの設定」ボタンを押します。



③ 「マクロの設定」を選択し、「すべてのマクロを有効にする」を選択し、OK ボタンを押します。



④ 上記設定をした後に事業者システムを起動すれば、正常に動作します。

【正常に設定された画面】

名古屋市・障害者自立支援 事業者システム 200904 Ver.1.0

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号 (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値) 提供単位番号名

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月 H21/4 (提供実績管理・請求明細管理・パッチメニューの提供年月の既定値)

<オンライン処理> 選択サービス

01 対象者管理 04 請求明細管理

02 契約管理 05 利用計画費請求

03 提供実績管理 06 上限管理結果

<パッチ処理>

11 パッチメニュー 12 国保連データ

<初期処理>

91 DB再リンク 92 操作権管理 93 事業者情報管理

94 市町村情報 98 バックアップ

バックアップファイル名に日付を付与

99 H21/04データ移行

終了

【正常に設定されていない画面】

メニュー

枠が一部しか表示されない。

名古屋市・障害者自立支援 事業者システム 200904 Ver.1.0

パスワード

事業者名称

サービス種類

受給者番号 (提供実績管理・請求明細管理・契約管理の受給者番号の既定値) 提供単位番号名

☐ 地域生活支援事業受給者

サービス提供年月 H21/4 (提供実績管理・請求明細管理・パッチメニューの提供年月の既定値)

<オンライン処理> 選択サービス

01 対象者管理 04 請求明細管理

02 契約管理 05 利用計画費請求

03 提供実績管理 06 上限管理結果

<パッチ処理>

11 パッチメニュー 12 国保連データ

<初期処理>

91 DB再リンク 92 操作権管理 93 事業者情報管理

94 市町村情報 98 バックアップ

バックアップファイル名に日付を付与

99 H21/04データ移行

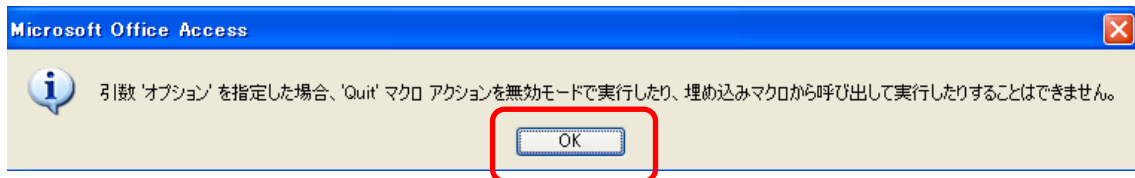
終了

⇒ 枠が表示されない場合は、セキュリティの設定が正しく行われていません。

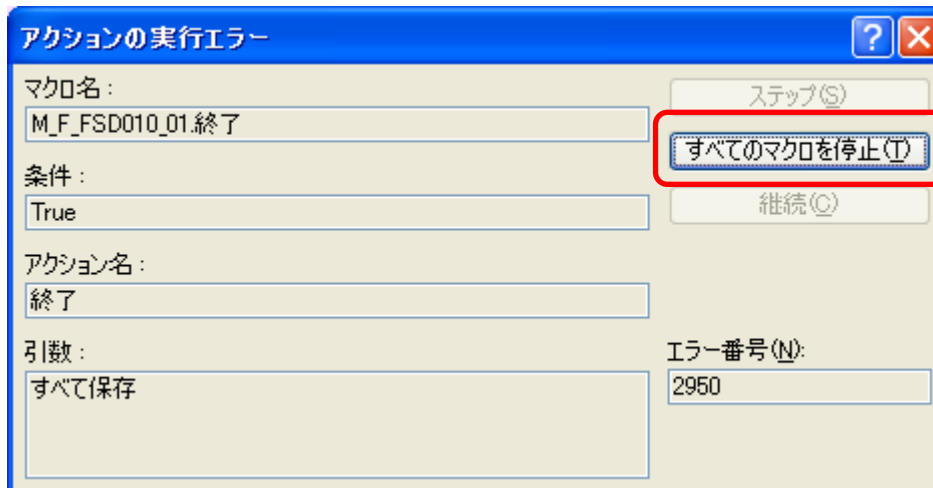
⑤【正常に設定された画面】が表示されない場合は、以下の手順で Access2007 を一旦終了し、再度設定をやり直してください。

a メニュー画面の「終了」ボタンを押します。

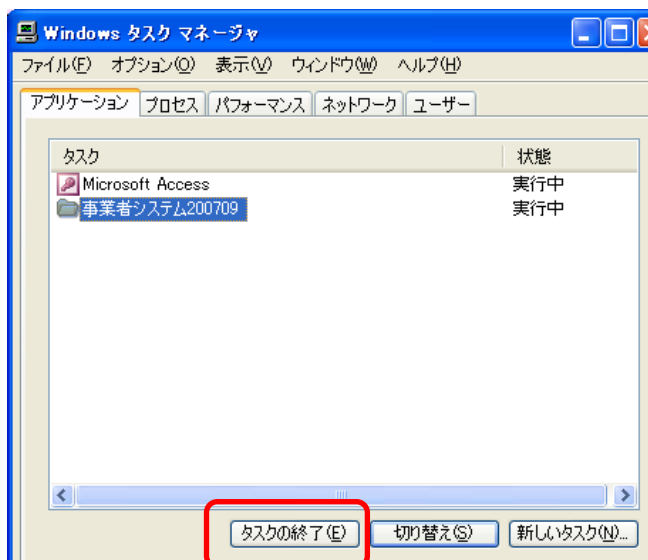
下のメッセージが表示されますので「OK」ボタンを押します。



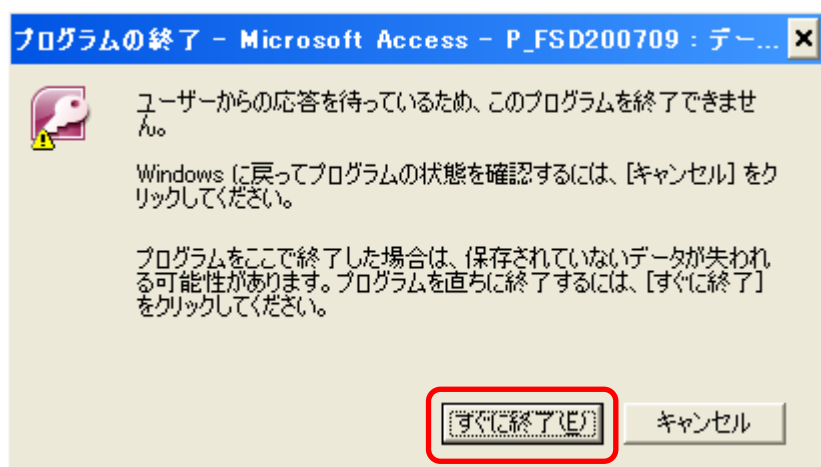
- b 「OK」 ボタンを押すと以下のメッセージが続けて表示されますので、「すべてのマクロを停止」を押します



- ※ 「すべてのマクロを停止」を押しても終了できない場合は Ctrl+Alt+Del を同時押してタスクマネージャーを開いて、「事業者システム 200904」を選択し、「タスクの終了」を押してください。



- c 以下のメッセージが表示されますので、「すぐに終了」を押して事業者システムを終了し、再度設定を行ってください。



2 Windows Vista をインストールしたパソコンで使用する場合

Windows Vista では標準で搭載されるMSフォントのバージョンが Windows XP 以前とは異なるため、Windows XP で作成したデータを Windows Vista で表示する場合や、Windows Vista で作成したデータを Windows XP で表示させる場合などに「漢字文字の字形が変わる」、または「漢字文字が表示されない」等の問題が生じることがあります。詳細はマイクロソフトのホームページ等を参照して下さい。

(1) 国保連合会へ送信する請求データについて

国保連合会へ送信する請求データについては、漢字文字のデータを送信することは通常ないため（※受給者の氏名データはカナ文字として送信）、「事業者システム 200904」を使用して問題が生じることはありません。

ただし、「提供実績管理」画面の「摘要」欄に漢字文字（＝Windows Vista から新たに追加された文字）を入力した場合、その内容が請求データとして作成されますので、国保連合会へ請求する際に問題が生じる可能性があります。エラー等の問題が生じる場合はひらがな等で入力する等の対応をお願いします。

(2) 請求書類の印刷について

請求書類を印刷する際には、「受給者名」「事業者名」等が漢字文字として印刷されますが、Windows XP で作成したデータを Windows Vista のパソコンで印刷する場合等に、入力した文字の内容によっては正しく印刷されないことがあります。その際には、手修正で正しい漢字に修正してご利用ください。

【想定される事象例】

状 況	事 象 例
Windows Vista で作成したデータを Windows XP で表示する場合	- 一部の文字について、字形が変更して表示される - 一部の文字について、「・」「■」など文字化けして表示される
Windows XP で作成したデータを Windows Vista で表示させる場合	一部の文字について、字形が変更して表示される